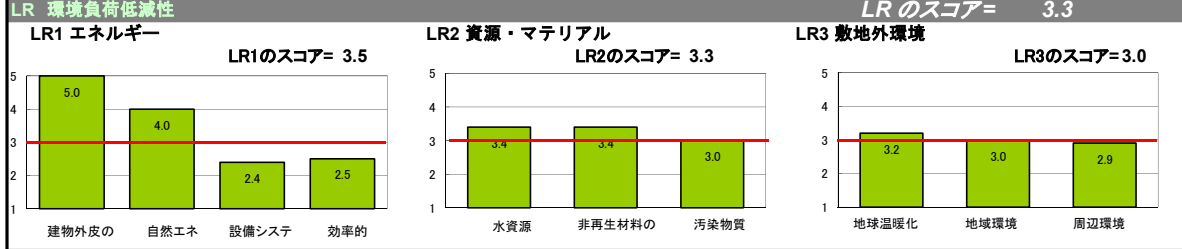
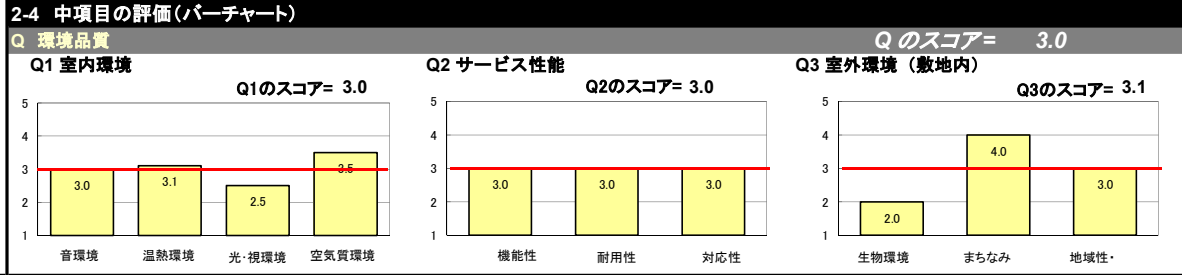
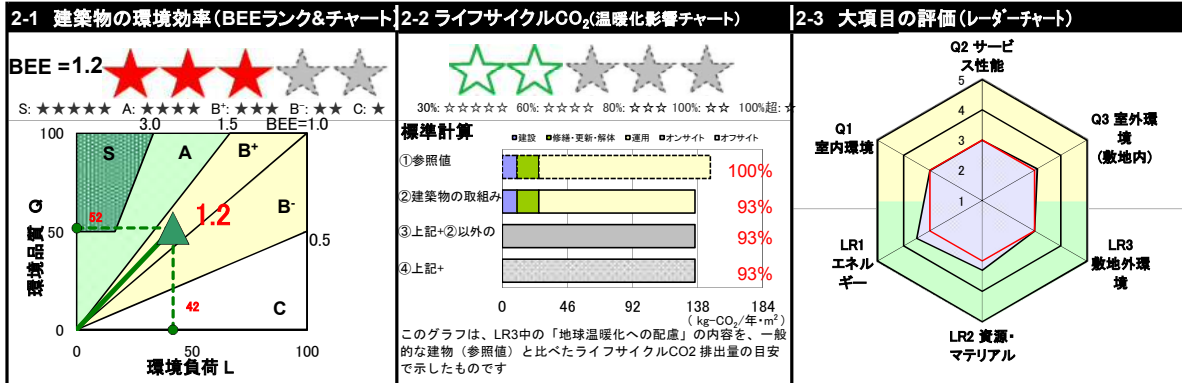


1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(社)王寿會 (仮称)特別養護老人ホ		階数	地上2F
建設地	愛知県豊橋市中原町字西荒神11、		構造	S造
用途地域	市街化調整区域		平均居住人員	120 人
気候区分	6地域		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院		評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月	予定	評価の実施日	2017年7月20日
敷地面積	9,999 m ²		作成者	山本 朋丞
建築面積	3,328 m ²		確認日	2017年7月20日
延床面積	5,498 m ²		確認者	山本 朋丞



3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.2</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.0</p> <p>外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">24.4 %</p> <p>建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.2</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
 LR-3 1 地球温暖化への配慮
 ②資源の有効活用
 Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
 LR-2 2 非再生性資源の使用量削減
 ③敷地内の緑化
 Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積 (建築面積及び附属物面積) を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積 (法定面積)}} \times 100$

3 対応性・更新性				3.0	0.29	3.0	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり				3.0	0.31	3.0	3.0	0.50	
1 階高のゆとり				3.0	0.60		3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ				3.0	0.40		3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.31		3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				3.0	0.38				
1 空調配管の更新性		②		3.0	0.17				
2 給排水管の更新性				3.0	0.17				
3 電気配線の更新性				3.0	0.11				
4 通信配線の更新性				3.0	0.11				
5 設備機器の更新性				3.0	0.22				
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.22				
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30				3.1
1 生物環境の保全と創出		独自③		2.0	0.30				2.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④	周辺の風景に調和させている	4.0	0.40				4.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30				3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		3.0	0.50				
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性									3.3
LR1 エネルギー									3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPlm=0.75	5.0	0.30				5.0
2 自然エネルギー利用			トップライトの採用	4.0	0.20				4.0
3 設備システムの高効率化				2.4	0.30				2.4
4 効率的運用				2.5	0.20				2.5
集合住宅以外の評価				2.5	1.00				
4.1 モニタリング				3.0	0.50				
4.2 運用管理体制				2.0	0.50				
集合住宅の評価				-	-				
4.1 モニタリング				-	-				
4.2 運用管理体制				-	-				
LR2 資源・マテリアル									3.3
1 水資源保護				3.4	0.15				3.4
1.1 節水			節水器具の採用	4.0	0.40				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60				
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67				
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33				
2 非再生性資源の使用量削減				3.4	0.63				3.4
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.07				
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.24				
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②		3.0	0.20				
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自	フリーアクセスフロア;ニチアス シグマフロア 床材;東リ フロア	4.0	0.20				
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.05				
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自	内装材と設備が錯綜せず、解体・更新時に安易に取り外せる	4.0	0.24				
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.22				3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32				
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.68				
1 消火剤				-	-				
2 発泡剤(断熱材等)				-	-				
3 冷媒				3.0	1.00				
LR3 敷地外環境									3.0
1 地球温暖化への配慮		①	Co2の排出量が一般的な建物と同等	3.2	0.33				3.2
2 地域環境への配慮				3.0	0.33				3.0
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25				
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50				
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25				
1 雨水排水負荷低減		独自		3.0	0.25				
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25				
3 交通負荷抑制		独自	適切な駐輪場・駐車場の確保	4.0	0.25				
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25				
3 周辺環境への配慮				2.9	0.33				2.9
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				4.3	0.40				
1 騒音		独自	騒音規制の条例等より大幅に抑えられている	5.0	0.33				
2 振動		独自	振動規制の条例等より大幅に抑えられている	5.0	0.33				
3 悪臭				3.0	0.33				
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				1.6	0.40				
1 風害の抑制				1.0	0.70				
2 砂塵の抑制				3.0	0.30				
3 日照障害の抑制				3.0	0.30				
3.3 光害の抑制				3.0	0.20				
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70				
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30				

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

(社)王寿會 (仮称)特別養護老人ホーム二川王寿園及び(仮称)

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.2
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.2	0.10	
② 資源の有効活用				3.2
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.4	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	外構緑化:24.4%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用				1.0
		(評価ポイント)		
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (社)王寿會 (仮称)特別養護

計画上の配慮事項	
総合	環境及びランニングコストを考慮し、高効率(LED)照明及び高効率空調機(パッケージエアコン)を採用 又敷地内環境とし、緑地面積を20%以上確保
Q1 室内環境	窓、外壁、屋根等において、室内の熱の侵入に対し、十分な配慮をしてる。 ヒートポンプ式空調機の採用 建物全体の禁煙が確認されている
Q2 サービス性能	事務室の天井高を2.7mとし、十分な窓の設置 食堂をリフレッシュスペースとし、自販機及び給茶器を設置 清掃及びメンテナンスの維持管理機能を確保 階高3.7m、壁長比率<0.1、荷重4500N/m ² 以上、構造部材を痛めることなく修繕、更新ができる
Q3 室外環境(敷地内)	外構緑化を25%確保 周辺の街並みや景観に対して、標準以上の配慮が行われている。 主たる建築設備に伴う排熱は、建物の高い位置からの放出としている
LR1 エネルギー	BPI=0.75 BEI=0.91
LR2 資源・マテリアル	節水型機器の設置 リサイクル資材 フリーアクセススロア:ニチアス シグマフロア 床材:東リ フロアリューム
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO ₂ 概算値=93% 建物利用者の為の適切な量の自転車置場の確保 駐輪場利用者の利便性の配慮 管理用車両や荷捌き用車両の駐車施設の確保
その他	